

丹波市駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 丹波市

事 業 名 : 駐車場整備事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	法非適用	事業開始年月日	下記のとおり
職 員 数	1 人	構 造	広場式
種 類	【都市計画駐車場】 柏原駅東駐車場 柏原駅前駐車場 石生駅西駐車場 黒井駅前駐車場 黒井駅前月極駐車場 市島駅前駐車場 【その他】 谷川駅前駐車場 下滝駅前駐車場 丹波竹田駅前駐車場	施 設 名	柏原駅東駐車場 柏原駅前駐車場 石生駅西駐車場 黒井駅前駐車場 黒井駅前月極駐車場 谷川駅前駐車場 下滝駅前駐車場 市島駅前駐車場 丹波竹田駅前駐車場
立 地	駅	営 業 時 間	24時間
建設後(建替後)の経過年数		柏原駅東駐車場 柏原駅前駐車場 石生駅西駐車場 黒井駅前駐車場 黒井駅前月極駐車場 谷川駅前駐車場 下滝駅前駐車場 市島駅前駐車場 丹波竹田駅前駐車場	経過年数27年(事業開始日:H5.2.1) 経過年数20年(事業開始日:H12.4.1) 経過年数25年(事業開始日:H7.4.1) 経過年数19年(事業開始日:H13.4.1) 経過年数14年(事業開始日:H18.11.1) 経過年数25年(事業開始日:H7.4.1) 経過年数17年(事業開始日:H15.1.1) 経過年数30年(事業開始日:H1.7.1) 経過年数14年(事業開始日:H18.11.1)
駐車場使用面積	柏原駅東駐車場 1,600㎡ 柏原駅前駐車場 1,052㎡ 石生駅西駐車場 2,337㎡ 黒井駅前駐車場 1,741㎡ 黒井駅前月極駐車場 1,014㎡ 谷川駅前駐車場 2,232㎡ 下滝駅前駐車場 1,688㎡ 市島駅前駐車場 589㎡ 丹波竹田駅前駐車場 618㎡	収 容 台 数	柏原駅東駐車場 62台 柏原駅前駐車場 24台 石生駅西駐車場 70台 黒井駅前駐車場 9台 黒井駅前月極駐車場 18台 谷川駅前駐車場 41台 下滝駅前駐車場 19台 市島駅前駐車場 20台 丹波竹田駅前駐車場 18台

民間活用の状況	ア 民間委託	
	イ 指定管理者制度	指定管理者制度（代行制）
	ウ PPP・PFI	

（２）料 金 形 態

【月極駐車場】 柏原駅東駐車場 月額4,000円/台 それ以外の駐車場 月額3,000円/台 【一時預かり駐車場】 1回 300円 ※1時間以内の使用に限り、無料。		
料金形態の考え方	JR福知山線利用増進等の公共交通政策や近隣類似施設の状況等を考慮し、総合的に使用料を決定している。	
料金改定年月日 （消費税のみの改定は含まない）	平成27年4月1日	

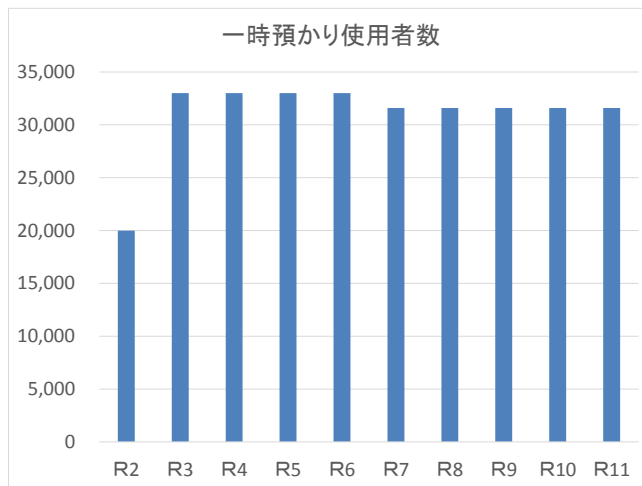
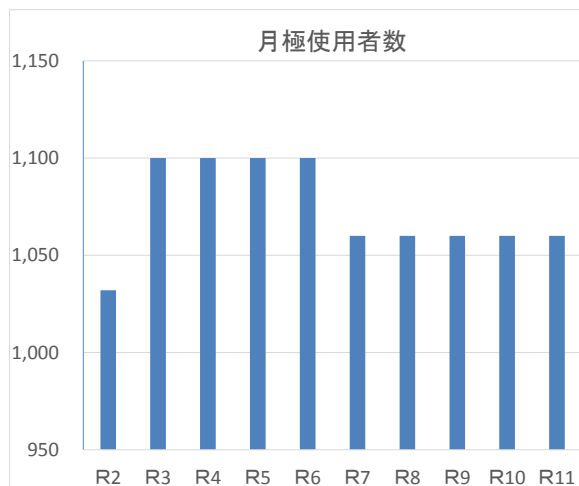
（３）現在の経営状況

市営駐車場は、市内の各JRの駅周辺に9ヶ所設置しており、民間事業者による効率的かつ効果的な運営を行えることから、指定管理者制度を導入している。収支の状況については、駐車場使用料を主な収入とし、指定管理者制度を導入することで、一定の経費で事業運営できることから、毎年度黒字決算としている。なお、毎年度発生する余剰金については、今後の料金自動精算機等更新費用として、駐車場整備基金に積立している（約350万円/年）。
--

2. 将来の事業環境

（１）駐車場需要の見通し

市営駐車場の使用者の大半は、市内在住の方であり、市内人口の増減が使用者数にも影響を与えることとなる。そのため、丹波市人口ビジョン（令和2年3月）で示す将来展望人口（15才以上を抽出）を基に駐車場使用者数を算出することとする。令和2年度から令和6年度（以下、「当初期間」という。）の5年間は、指定管理者の募集時に示した評価指標の目標値とする。以降については、丹波市人口ビジョンの将来展望人口のとおり、本市の人口が0.9%/年で減少する（令和2年度～令和32年度比較）と予想されることから、令和7年度から令和11年度の5年間は、当初期間から4.5%減少した使用者数を見込むものとする。
【丹波市人口ビジョンによる将来展望人口】 令和2年度 53,971人 令和32年度 39,537人 ※年齢層については、駐車場使用者階層である15歳以上を抽出。
【令和2年度から令和6年度】 月極駐車場使用者 1,100人/年 一時預かり駐車場使用者 33,000人/年 ※令和2年度に限り、実績値（予想値）としているが、新型コロナウイルスの影響に伴い、使用者が減少している。
【令和7年度から令和11年度】 月極駐車場使用者 1,060人/年 一時預かり駐車場使用者 31,600人/年 ※当初期間から4.5%減少。



(2) 料金収入の見通し

「(1) 駐車場需要の見通し」に準じて、収入の見通しを算出する。算出にあたっては、月極及び一時預かり駐車場の使用者数に1台あたりの平均使用料を乗じた金額とする。なお、一時預かり駐車場の使用者数については、全体の使用者数から無料使用者数(1時間以内の駐車場使用は無料)を控除して算出するものとする。

【平均使用料】

月極駐車場 3,357円/台

一時預かり駐車場 399円/台

【令和2年度から令和6年度】

月極駐車場使用料 3,692,000円/年

一時預かり駐車場使用料 8,189,000円/年

計 11,881,000円/年

※料金収入の見通し＝駐車場使用者数×平均使用料により算出。

※令和2年度に限り、実績値(予想)としているが、新型コロナウイルスの影響に伴い、使用料が減少している。

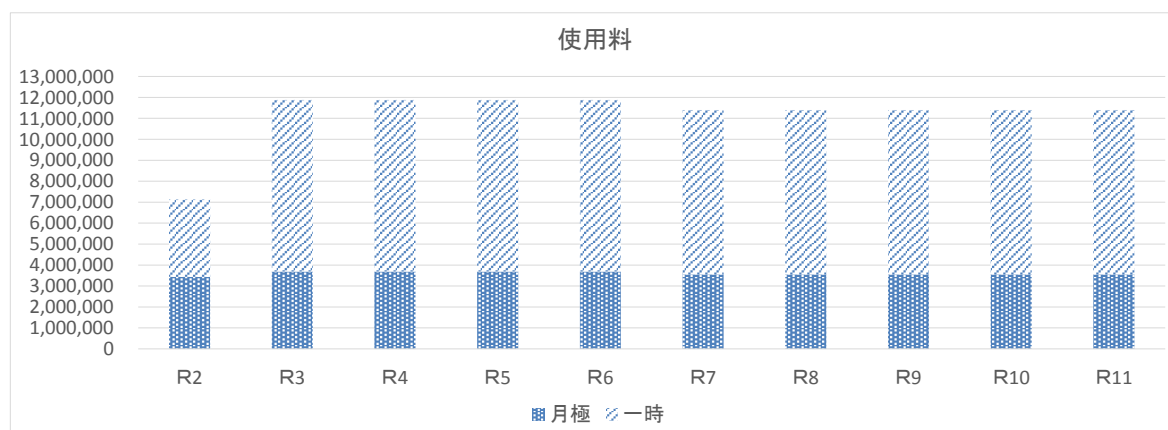
【令和7年度から令和11年度】

月極駐車場使用料 3,558,000円/年

一時預かり駐車場使用料 7,842,000円/年

計 11,400,000円/年

※料金収入の見通し＝駐車場使用者数×平均使用料により算出。ただし、全駐車場使用者数から無料使用者数を控除する。



(3) 施設の見通し

市営駐車場に設置した精算機等の設備については、谷川駅前駐車場を除き、平成20～21年度に整備されている。本計画において、精算機等の更新については、現行の使用状況を鑑み、15年毎に行うこととする。この方針に伴い、次期指定管理期間(令和2年度～令和6年度)においては、修繕により、精算機の保全を図ることとし、令和6年度には谷川駅前駐車場を除く全駐車場の精算機について更新を行うこととする。また、令和6年度は、新紙幣が発行されるタイミングであり、併せて変更を行うこととする。

【更新計画】

対象: 柏原駅前駐車場、石生駅西駐車場、黒井駅前駐車場、下滝駅前駐車場、市島駅前駐車場、丹波竹田駅前駐車場

時期: 令和6年度

費用: 45,900千円(ゲート式精算機: 約12,200千円、フラップ式精算機: 約5,400千円)

(4) 組織の見直し

平成22年度から指定管理者制度を導入しており、現在は兼務職員1名体制であり、今後も同様の体制で運用する予定。

3. 経営の基本方針

- ・安全安心な施設の維持
定期的な施設の点検及び修繕を行うとともに、計画的に利便性の高い設備を更新し、使用者が安全に安心して利用できるよう駐車場施設の維持に努める。
- ・経営の効率化
安定した駐車場経営を目指し、維持管理費のコスト縮減や指定管理者制度の継続等、経営の効率化及び安定化を図る。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	・精算機等の機器について、保守点検を効果的に行い、長寿命化を図る。 ・各市営駐車場の精算機等の機器については、設置後10年以上が経過しており、本計画内に設備の更新を行う。
-----	--

- ・年間の維持管理に必要な修繕料として、約300千円/年を計上し、適切な予防保全を図ることとする。
- ・機器の更新：市営駐車場の精算機更新費用として、45,900千円を計上。
【令和6年度対象】柏原駅前駐車場、石生駅西駐車場、黒井駅前駐車場、下滝駅前駐車場、市島駅前駐車場、丹波竹田駅前駐車場

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	・各指定管理期間に適切な使用者数を目標設定し、使用料収入の維持を図る。 ・精算機の更新に伴い、適切に駐車場整備基金を活用する。
-----	--

- ・市営駐車場の使用料収入については、人口減少に伴い、使用者の減少が見込まれる。各指定管理期間ごとに適切な使用者数の目標値を設定し、経営の効率化を図ることとする。
- ・設備の更新にあたっては、駐車場整備基金を財源とし、計画的な投資を行うこととする。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

- ・指定管理料が全体経費の主要な割合を占めており、複数年固定された経費での事業運営ができることから、引き続き指定管理者制度を活用することとする。
- ・その他の経費については、精算機の修繕費用や消費税等となっている。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民 間 活 用	引き続き、指定管理者制度を導入し、民間事業者の経営ノウハウを活用する。
駐車場の配置の適正化	今後も現行のとおり、各JR駅周辺に設置することとする。
投資の平準化	該当なし
その他の取組	該当なし

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	定期的に近隣類似施設の状況を確認するとともに、公共交通政策部署との連携を行い、使用料の設定を行うこととする。
利用者増加に向けた取組	鉄道利用促進等、公共交通政策部署との連携を強化し、取組みを行うものとする。
企 業 債	該当なし
繰 入 金	該当なし
資産の有効活用等による収入増加の取組	該当なし
その他の取組	該当なし

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委 託 料	指定管理者制度を導入しており、一定の経費で事業運営ができています。
管 理 運 営 費	同上
職 員 給 与 費	該当なし
その他の取組	該当なし

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	駅に隣接して設置しており、近隣に民間の事業者も少ないことから、本市の公共交通利用の促進を図るために必要である。
公営企業として実施する必要性	同上

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	定期的に進捗管理を行い、指定管理者の更新時や設備更新のタイミングで見直しを行うこととする。
---------------------	---

[illegible]

[illegible]

(単位:千円)

[illegible]

経営比較分析表（令和元年度決算）

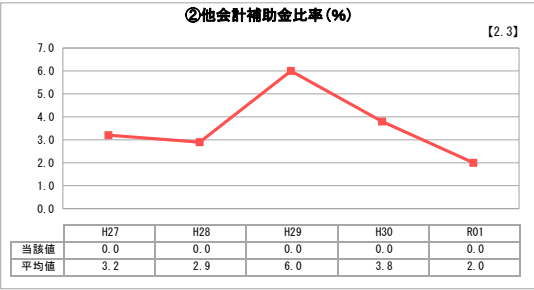
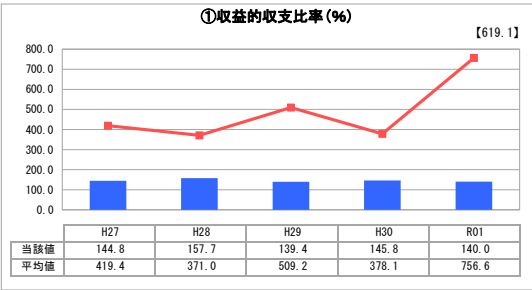
兵庫県丹波市 柏原駅東駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	27	

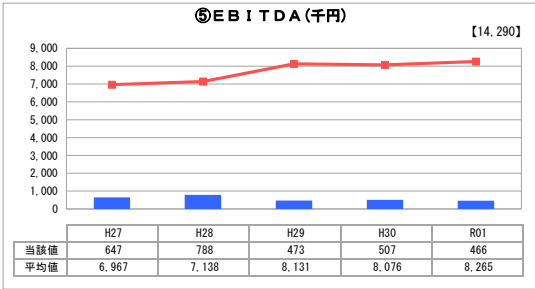
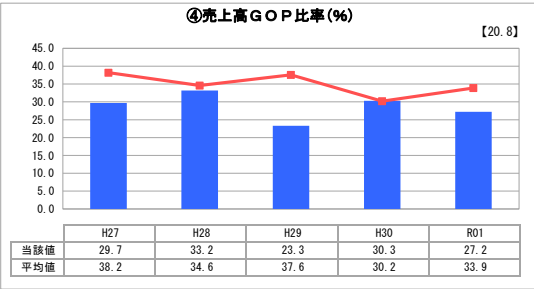
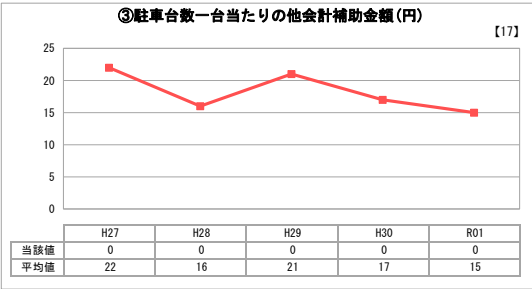
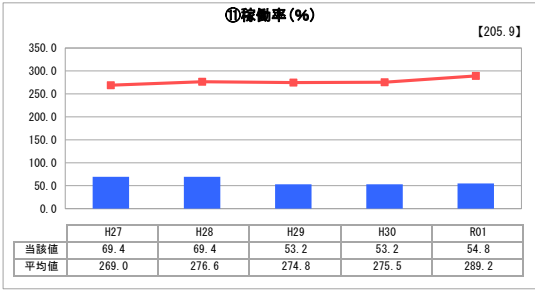
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,600
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
62	5	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



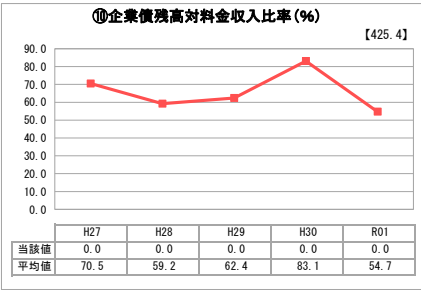
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
43,299
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、140.0%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設の稼働率については、駐車可能台数62台に対して、平均の駐車台数は約34台（稼働率約54.8%）となっており、利用率は微増した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を図っていくこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

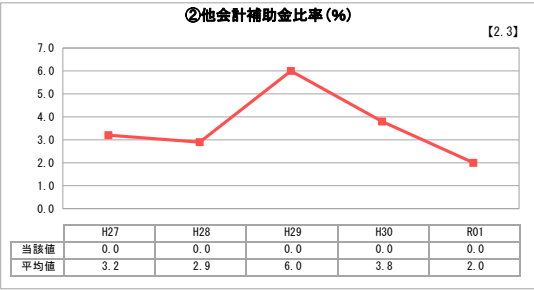
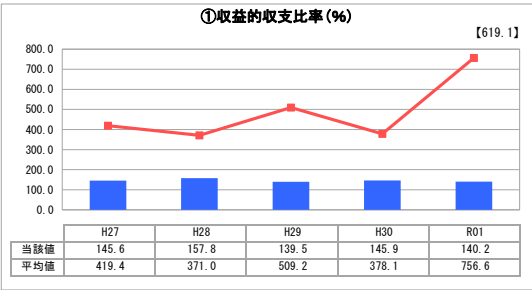
兵庫県丹波市 柏原駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	20	

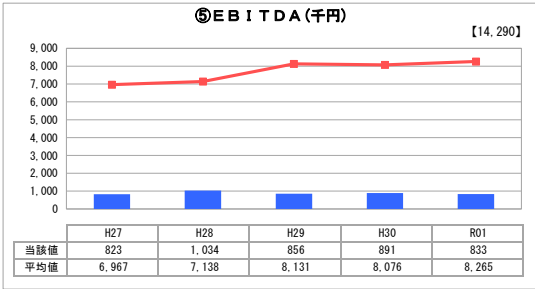
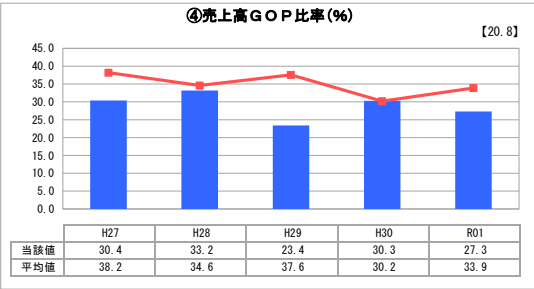
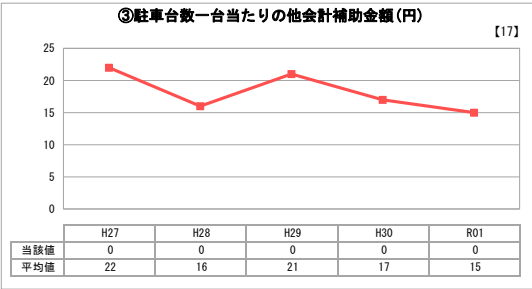
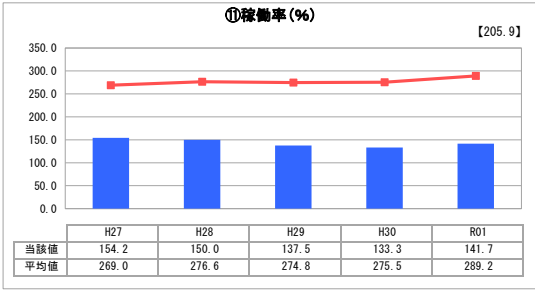
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,052
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
24	300	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



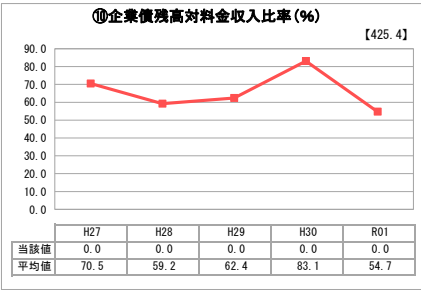
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
26,582
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、140.2%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設は一時駐車場で、駐車可能台数24台に対して、駐車台数の平均は約34台（稼働率約141.7%）となっており、利用率は微増した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を図っていくこととする。

全体総括
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

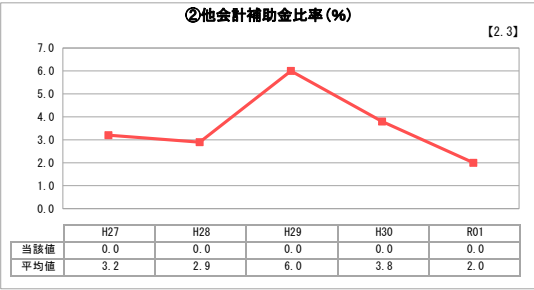
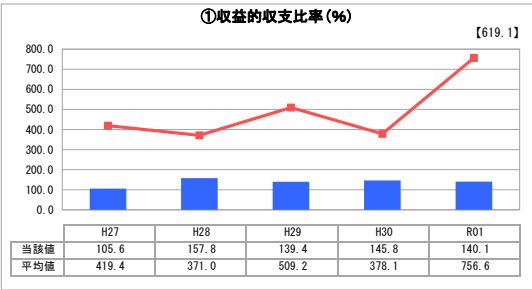
兵庫県丹波市 谷川駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	25	

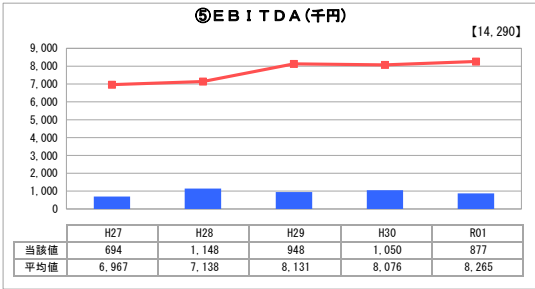
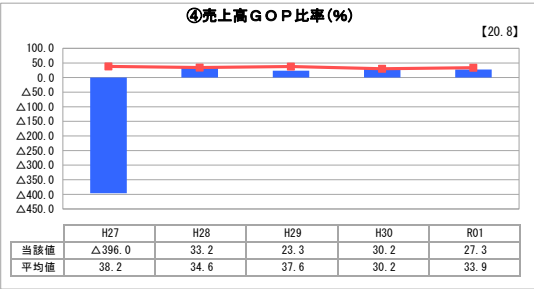
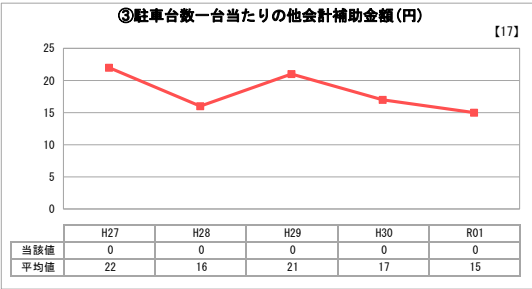
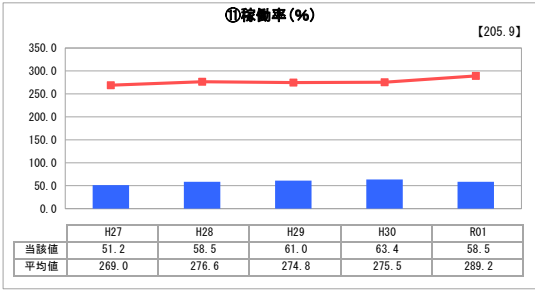
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,232
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
41	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



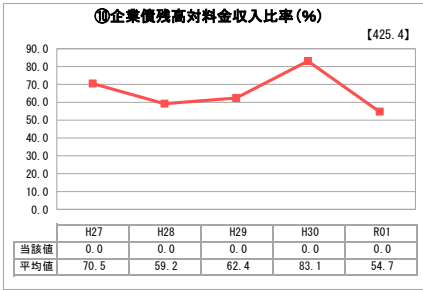
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑧敷地の地価(千円)
18,970
⑨設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、140.1%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設の稼働率については、駐車可能台数41台に対して、平均の駐車台数は24台（約58.5%）となっており、利用率は減少した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことが難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を行うこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

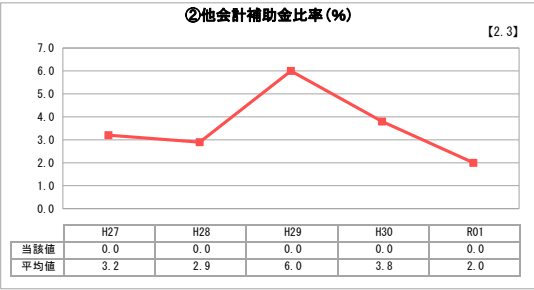
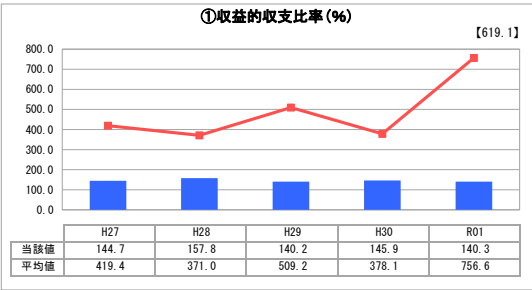
兵庫県丹波市 下流駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	17	

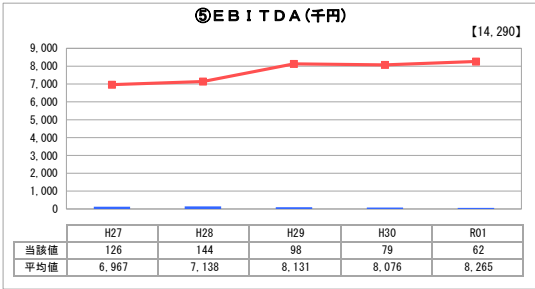
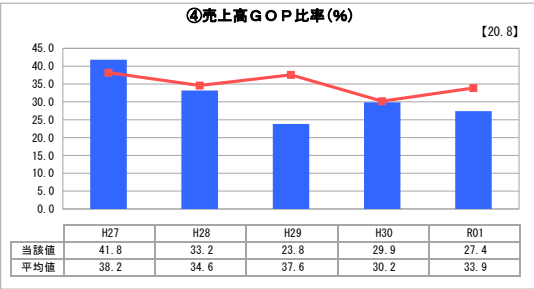
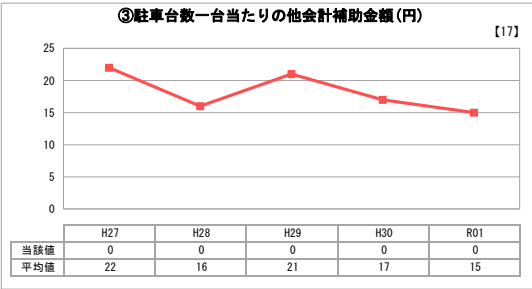
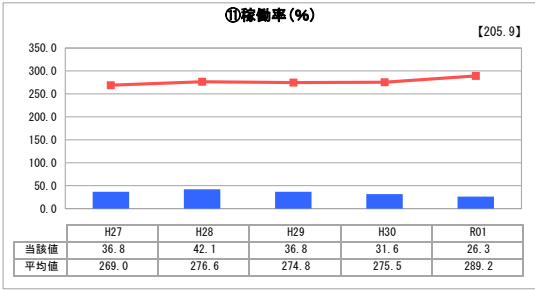
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,688
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
19	304	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



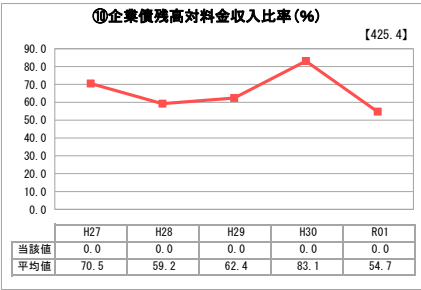
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑧敷地の地価(千円)
11,802
⑨設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、140.3%と単独会計で収支比率100%を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設は、月極駐車場駐車可能台数9台に対して、平均の駐車台数は3台（稼働率33.3%）。また、一時駐車場駐車可能台数10台に対して、平均の駐車台数は2台（稼働率20%）。全体では平均駐車台数5台（稼働率26.3%）となり、利用率は減少した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を図っていくこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

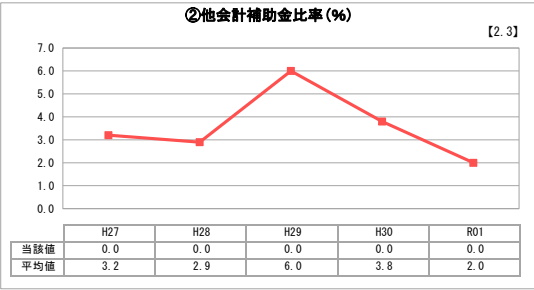
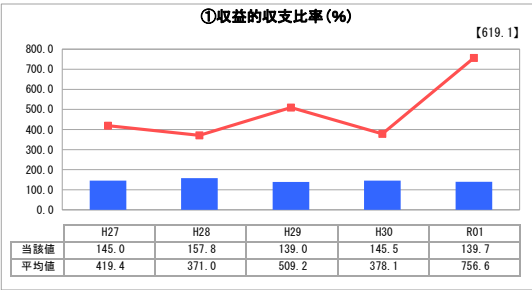
兵庫県丹波市 市島駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	30	

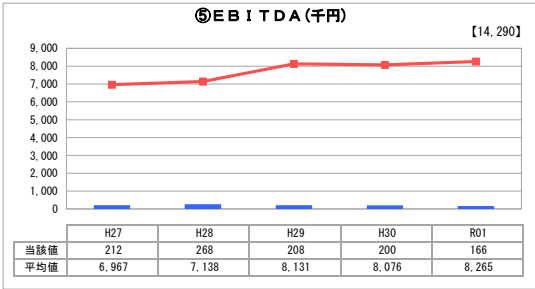
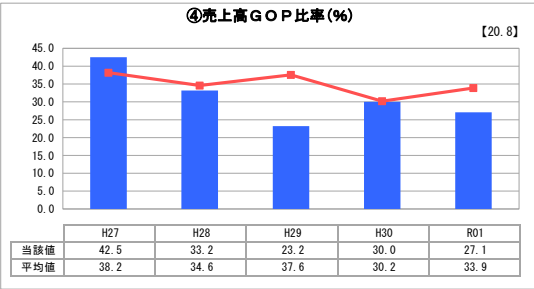
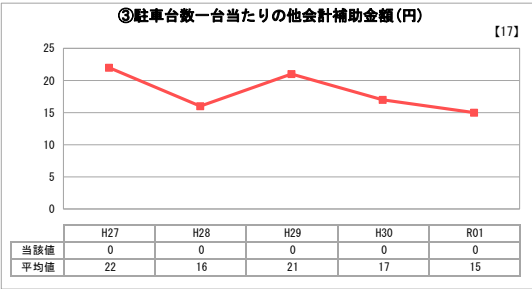
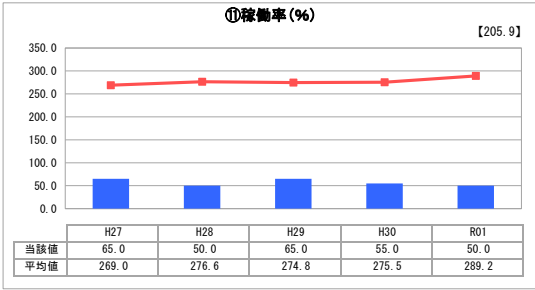
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	589
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
20	304	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



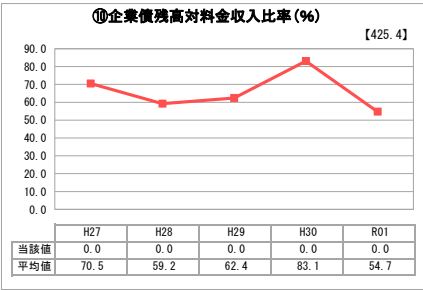
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
6,020
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、139.7%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設は、月極駐車場駐車可能台数10台に対して、平均の駐車台数は7台（稼働率70.0%）。また、一時駐車場駐車可能台数10台に対して、平均の駐車台数は3台（稼働率30.0%）。全体では平均駐車台数10台（稼働率50.0%）となり、利用率は減少した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を図っていくこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

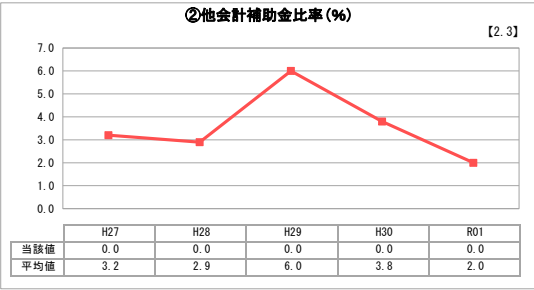
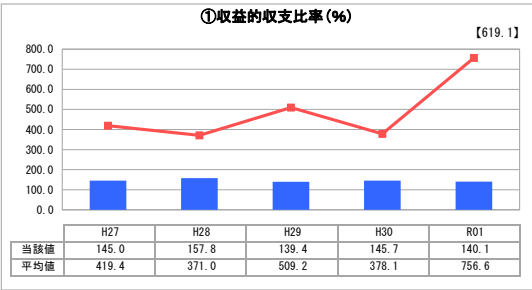
兵庫県丹波市 石生駅西駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	25	

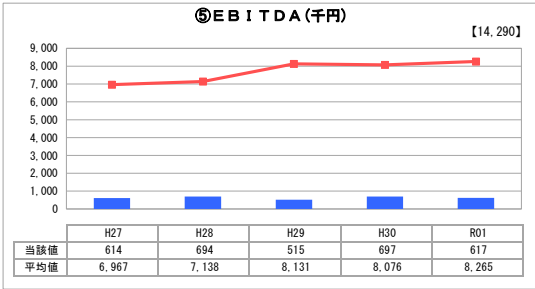
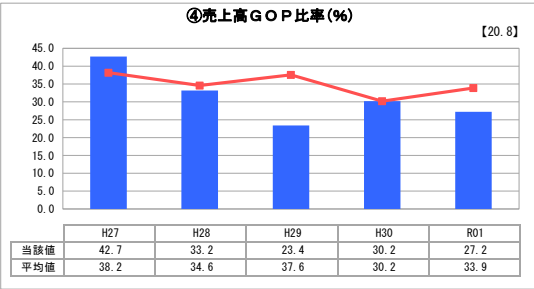
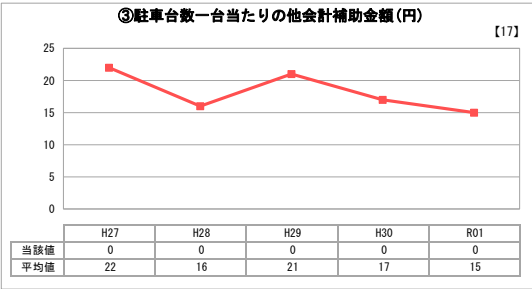
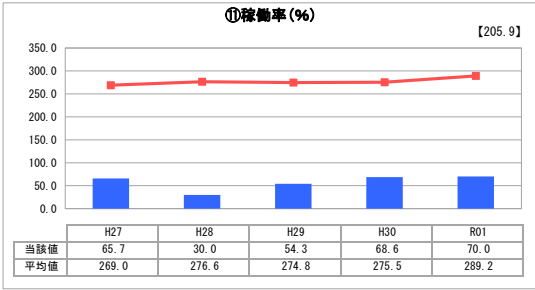
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,337
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
70	304	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



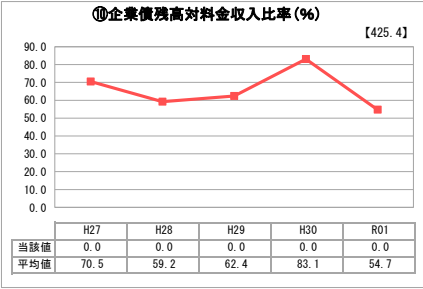
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
34,999
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、140.1%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設は、月極駐車場駐車可能台数40台に対して、平均の駐車台数は30台（稼働率75.0%）。また、一時駐車場駐車可能台数30台に対して、平均の駐車台数は19台（稼働率63.3%）。全体では平均駐車台数49台（稼働率70.0%）となり、利用率は微増した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を行うこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

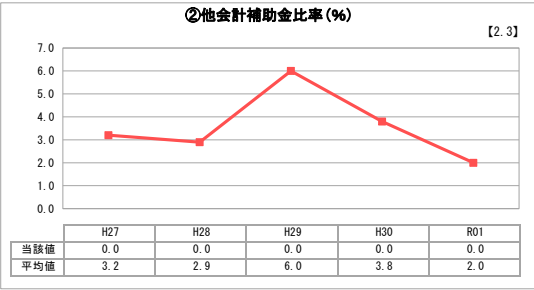
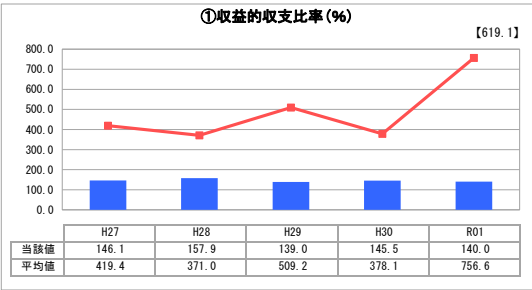
兵庫県丹波市 黒井駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	19	

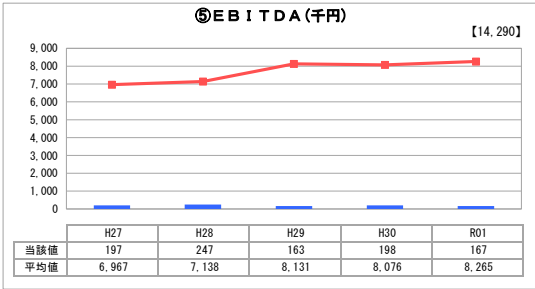
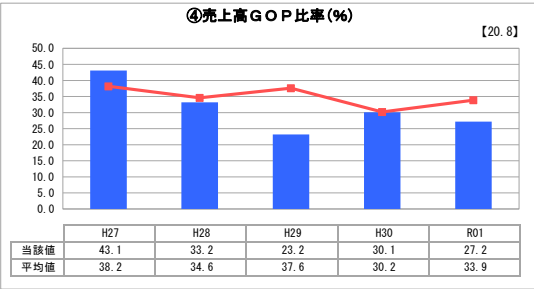
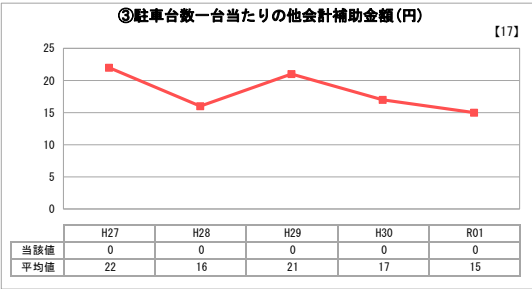
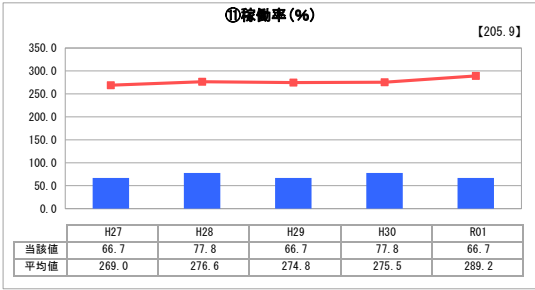
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,741
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
9	300	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



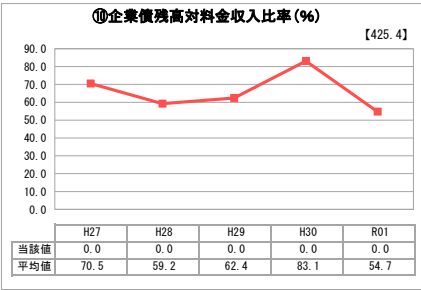
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑧敷地の地価(千円)
26,347
⑨設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、140.0%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設の稼働率については、駐車可能台数9台に対して、平均の駐車台数は約6台（稼働率約66.7%）となっており、利用率は減少した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を図っていくこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

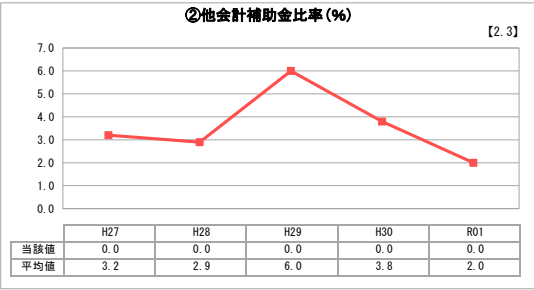
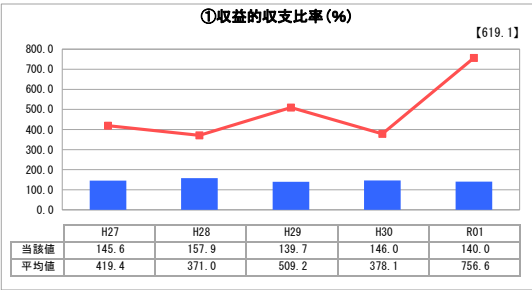
兵庫県丹波市 黒井駅前月極駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	14	

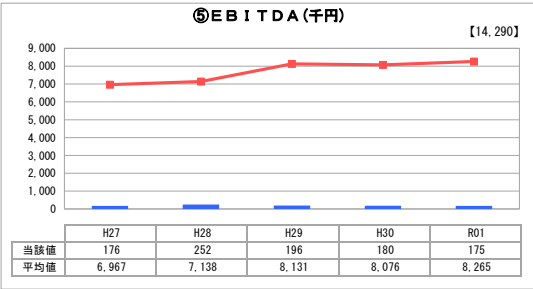
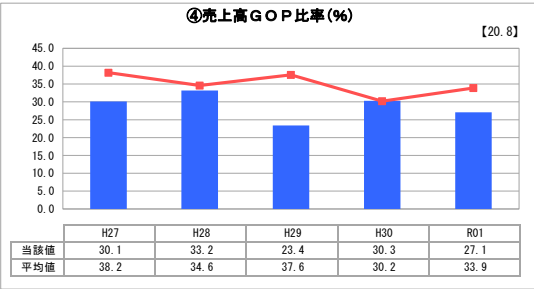
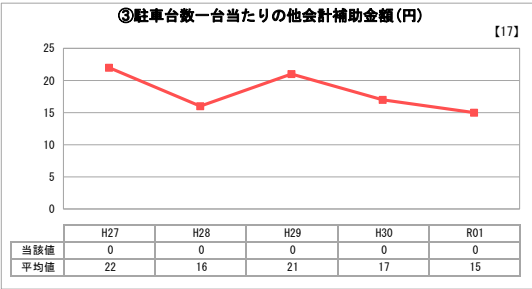
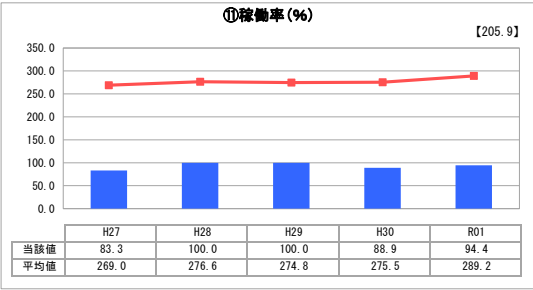
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,014
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
18	4	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



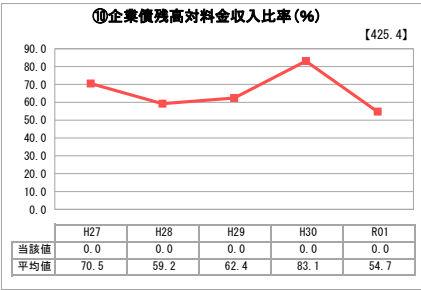
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
15,345
⑧設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.5%程度の収益的収支比率となっているが、140.0%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率化を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設の稼働率は、駐車可能台数18台に対して、平均の駐車台数は17台（稼働率94.4%）で利用率は微増した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を図っていくこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

経営比較分析表（令和元年度決算）

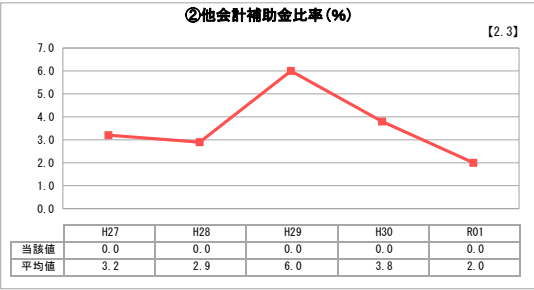
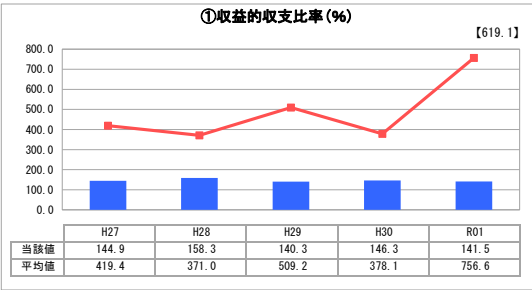
兵庫県丹波市 丹波竹田駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	13	

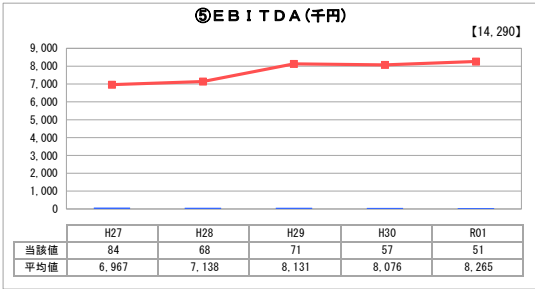
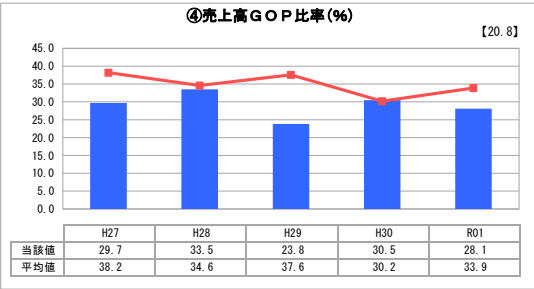
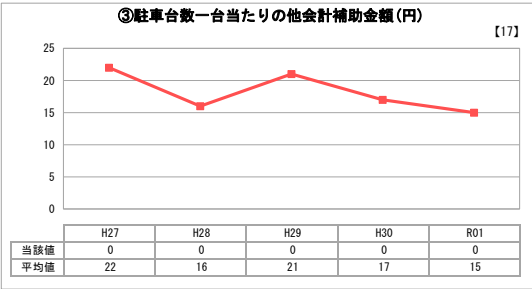
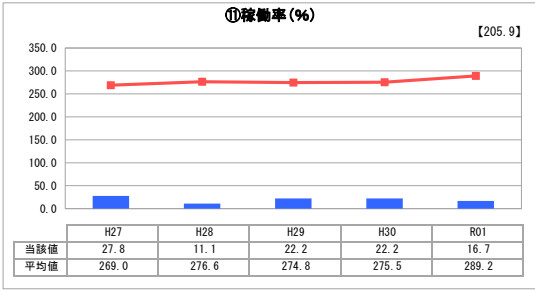
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	618
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
18	304	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



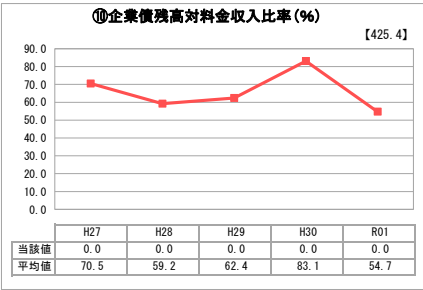
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑧敷地の地価(千円)
3,786
⑨設備投資見込額(千円)
0



分析欄

1. 収益等の状況について
本施設については、市民の交通機関への利便性向上を主たる目的として設置している。収益等の状況については、類似施設平均と比較すると18.7%程度の収益的収支比率となっているが、141.5%と単独会計で収支比率100%以上を維持している。今後もこの水準を維持できるよう、経営の効率を図ることとする。

2. 資産等の状況について
本施設の資産等は、精算機や舗装設備などがある。資産の点検や修繕を適切に行うことで長寿化を図る。また、更新計画については、経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。

3. 利用の状況について
本施設は、月極駐車場駐車可能台数8台に対して、平均の駐車台数は2台（稼働率25.0%）。また、一時駐車場駐車可能台数10台に対して、平均の駐車台数は1台（稼働率10%）。全体では平均駐車台数3台（稼働率16.7%）となっており、利用率は減少した。近年の状況から、利用率の大幅な増加を見込むことは難しいことから、現行の利用率を維持できるよう市民に対して、利用に向けた周知等を図っていくこととする。

全体総括
施設としては黒字経営となっているが、今後も経営を安定させるため、利用率の維持や効率化を図ること、また、施設の更新計画についても経営戦略を策定し、計画的な投資を行うこととする。